



美術の森 所蔵

兵馬俑と銅馬車は、今から2200年前、  
中国の秦の時代に陪葬用として作られたものです。

兵馬俑は等身大で実在の兵士を1人ひとりモデルにし、と  
てもリアルに作られています。写真の跪射武士俑は片膝をついて、  
両手で弩を持つ兵士で、長襦袢の上に披膊の付いた鎧を着けています。履物の裏には円点状の  
模様が刻まれ、髪の結い方や結び紐も微細に刻まれています。胸囲は鎧を着た状態で95cm  
座身は115cmです。2台の銅馬車は青銅製で実際使用された木製馬車の2分の1の大きさで  
作られ、金銀の象眼や、装飾品で飾られています。また、傘や輿には彩色による模様が描かれ  
彩絵も2200年の時の流れを感じさせないぐらい美しい色彩を残し、秦始皇帝時代の銅馬車  
の技術がいかに精巧で驚異的な高水準に達していたかが伺われます。

## 目 次

●愛知県博物館協会平成12年度総会の報告について	2
●平成12年度東海地区博物館連絡協議会	
日本博物館協会東海支部総会の報告について	4
●新規加盟館の紹介	5
●「あいち子どもミュージアムキャラバン」の勧奨	6

## 愛知県博物館協会 平成12年度総会の報告

愛知県博物館協会の平成12年度総会が6月6日(火)、名古屋市熱田区の「名古屋国際会議場」で、参加54館72名の出席のもと盛大に開催されました。概要は以下の通りです。

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

名古屋市博物館 館長 宮澤明倫氏  
来賓あいさつ  
愛知県教育委員会学習教育部生涯学習課  
課長 金井正樹氏

### 3. 表彰

功労賞 名古屋市博物館 安達厚三氏  
名古屋市科学館 内藤晴枝氏

### 4. 新加盟館紹介あいさつ

- ・美術の森
- ・名古屋ボストン美術館
- ・名古屋港水族館

### 5. 議事

議長 宮澤明倫氏(会長)

#### ①平成11年度事業報告及び決算報告について

##### 1 研修会の実施

(1) 愛知県博物館等職員研修会  
期日 平成11年9月9・10日  
会場 尾西グリーンプラザ  
テーマ 「新世紀へ向けての博物館」  
参加者 53名

(2) 部門別研修会

ア自然科学部門  
期日 平成12年2月10日  
会場 東栄町 古戸の風穴  
テーマ 「洞窟の自然観察」  
参加者 19名

イ歴史民俗部門

期日 平成12年2月17日  
会場 名古屋市博物館  
テーマ 「博物館におけるコミュニケーション  
－来館者調査と展示評価調査－」

参加者 62名

ウ美術部門

期日 平成12年2月24日

会場 愛知県美術館

テーマ

「美術館危機の時代(不況対策)」

参加者 70名

#### 2 東海地区博物館連絡協議会

平成11年度総会への参加

期日 平成11年7月7・8日

会場 山梨厚生年金会館

講演会 「武田信玄人気の秘密  
－公としての戦国大名－」

講師 信州大学人文学部教授 笹本正治氏

参加者 78名(内県内18名)

#### 3 第24回東海三県博物館協会

交流研修会の開催

期日 平成11年10月28・29日

会場 あいち健康の森

健康科学総合センター  
健康科学館

テーマ

「マルチメディア時代の諸問題」

参加者 68名(内県内34名)

#### 4 表彰の実施

奨励賞 横山 進氏  
名古屋市東山植物園職員  
感謝状 昭和美術館

#### 5 印刷物の作成・配布

- (1) 協会報「愛知の博物館」2回発行
- (2) 「おでかけガイド」2回発行
- (3) 「東西南北」1回発行
- (4) 歴史民俗部門研修会報告書
- (5) 加盟館園職員録

#### 6 会議等

- (1) 総会 1回開催
- (2) 理事会 2回開催
- (3) 実行委員会 10回開催

#### 7 平成11年度加盟等

退会 名古屋昆虫館(準備室)  
以上1館

#### 8 平成11年度決算報告

資料に基づき事務局より説明、異議なく承認された。

②平成12年度事業計画(案)及び

予算(案)について

#### 1 事業

- (1) 愛知県博物館等職員研修会  
 愛知県教育委員会と共に博物館  
 関係施設等に勤務する職員を対象  
 とする。  
 期 日 平成12年9月7・8日  
 会 場 豊田市美術館  
 企画担当 豊田市郷土資料館  
 テーマ 「学校と博物館」  
 - 2002年総合学習の  
 導入にむけて -
- (2) 部門別研修会  
 自然科学部門 平成13年2月予定  
 企画担当 名古屋市科学館  
 歴史民俗部門 平成13年2月予定  
 企画担当 博物館明治村  
 美術部門 平成13年2月予定  
 企画担当 愛知県美術館
- (3) 東海地区博物館連絡協議会  
 平成12年度総会への参加  
 期 日 平成12年7月11・12日  
 会 場 横浜市 横浜美術館
- (4) 第25回東海三県博物館協会  
 交流研修会への参加  
 期 日 平成12年10月31日・11月1日  
 会 場 長良川スポーツプラザ
- (5) 表彰  
 協会加盟館（園）に勤務し、特にそ  
 の発展に寄与した者の表彰を行う。
- (6) 印刷物の編集・発行  
 ・協会報「愛知の博物館」2回発行

- 編集担当 热田神宮宝物館  
 でんきの科学館  
 ・「おでかけガイド」 2回発行  
 編集担当 岡崎市美術博物館  
 弥富町歴史民俗資料館  
 ・「加盟館園職員録」  
 編集担当 愛知県陶磁資料館
- (7) 愛知県博物館協会  
 “子ども博物館”研究会  
 企画担当 愛知県陶磁資料館
- (8) 「いこまい!! 愛知のミュージアム展」  
 企画担当 名古屋市博物館
- 2 会議  
 (1) 総 会 (平成12年6月6日)  
 (2) 理事会 (平成12年4月27日)  
 (3) 実行委員会 ( 随時 )
- 3 平成12年度加盟等  
 新加盟 美術の森  
 名古屋ボストン美術館  
 名古屋港水族館  
 以上3館
- 4 平成12年度予算（案）  
 事業計画案に基づく予算案を事務局より  
 提示、承認された。

※総会終了後恒例の講演会を実施、今年度は日本モンキーセンター前園長小寺重孝氏をお迎えして「サル、人、私」というテーマでご講演をいただきました。

本年は当会規約による役員の改選期にあたり、役員及び実行委員が次のとおり交替致しました。今後共、会員各位の  
 ご協力の程、よろしくお願ひ致します。

#### 愛知県博物館協会役員並実行委員（平成12・13年度）

- 会長 竹内 正（名古屋市博物館） 副会長 二橋一彦（熱田神宮宝物館）  
 理事 篠田和俊（愛知県陶磁資料館）・後藤郁夫（稲沢市荻須記念美術館）・芳賀 徹（岡崎市美術博物館）  
 石川 昇（武豊町歴史民俗資料館）・牧野督治（でんきの科学館）・徳川義宣（徳川美術館）  
 安藤 勇（豊田市郷土資料館）・山本厚夫（トヨタ博物館）・藤井 隆（豊橋市美術博物館）  
 橋口敬二（名古屋市科学館）・飯田喜四郎（博物館明治村）・横山良哲（鳳来寺山自然科学博物館）  
 稲垣 厚（弥富町歴史民俗資料館）
- 監事 長谷川三郎（愛知県美術館）・柳澤幸輝（昭和美術館）  
 実行委員 犬塚康博（会長館）・千秋季頼（副会長館）  
 佐藤一信（理事館）・日野幸治（理事館）・天野幸枝（理事館）・奥川弘成（理事館）・喜多幸男（理事館）  
 小池富雄（理事館）・松井孝宗（理事館）・鈴木忠道（理事館）・高橋洋充（理事館）・佐伯平二（理事館）  
 中野裕子（理事館）・加藤貞亨（理事館）・伊藤隆彦（理事館）・深山孝彰（監事館）・海野嘉代（監事館）
- 事務局 堤 時啓・鈴木知之・早川彰夫・佐藤行雄（名古屋市博物館）

## 平成12年度 東海地区博物館連絡協議会 日本博物館協会東海支部の理事会並びに総会の報告

名古屋市博物館 総務課長 鈴木知之

7月11日～12日に横浜市において開催された、平成12年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部の理事会並びに総会に出席したので、その概要を報告します。

会場となった横浜美術館は、西区みなとみらい三丁目にあり、横浜市制100周年記念として平成元年11月に開設された。延床面積は27,000m<sup>2</sup>、内、外装、外構には御影石がふんだんに取り入れられた素晴らしい施設である。

午前中、来賓の日本博物館協会五十嵐専務理事を始め理事、監事15名の出席で、理事会が開かれ、午後の総会に提案される議事について審議を行った。

会議後の情報交換では、大学生の博物館実習の実態が話題になった。受入れには、職員がカリキュラム作成、実習指導などに大変な労力を費して対応しているのに、やる気のない学生が目につく。大学は単位を与えるときには、受入館の実習生評価を尊重してほしい。又、今後は科学、工学など幅広い分野の学生を受け入れていく必要があるなど活発な意見交換がされた。

午後2時から、レクチャーホールにて総会が開催された。参加者は、愛知13名、岐阜13名、静岡13名、山梨12名、神奈川35名計86名であった。

東海地区博物館連絡協議会会长の馬場神奈川県立歴史博物館長の歓迎の挨拶、来賓の祝辞に続き、表彰式が行われ、博物館界のため顕著な貢献をされた功績等により、平光明彦（岐阜県美術館）、堀由紀子（株式会社江ノ島水族館）、濱田隆（山梨県立美術館）の3氏が表彰された。

次に、馬場会長が議長をつとめ議事に入り①平成12年度理事及び監事の選任②平成11年度事業報告及び決算報告③平成12年度事業計画及び予算案④平成13年度開催県について事務局より説明があり、いずれも原案どおり承認された。続いて次期開催地に決定した岐阜県を代表して、遠藤岐阜県博物館長が、昔から東西交通の要所として栄えた県内の特徴をお見せできるよう努力したいと引き受けの挨拶があった。

総会終了後、美術評論家宮野力哉氏による「絵とき 開港と横浜」と題した講演が開催された。幕末の日本を搖がしたペリー来航で驚く人々の様子、日米和親条約締結の様子、なぜ横浜に港がつくられたかなどを当時の絵画や海図のスライドを見ながらの講演であった。

講演終了後は、港が一望できる絶好のホテルで恒例の懇親会が催され、意見交換、交流の場として大いに活況を呈した。

翌日の視察は最初に、横浜市の中心部から北西約10kmにある緑豊かな丘陵地に昨年4月開園した「横浜市立よこはま動物園」を訪問した。ここでは、アジアの熱帯林、オセアニアの草原、日本の山里、アマゾンの密林など生息地の環境別に動物が展示されており、動物が実際に暮している姿に近い状態で、真近かに観察できるようになっている。規模は、現在一部開園で約29ha、全面開園すると約53haとなり、日本で最大級の動物園になるとのこと。

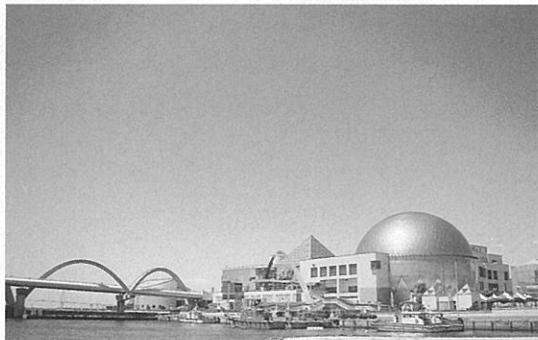
次に訪問した、「横浜市歴史博物館」は、開発が進む港北ニュータウンにあり「横浜に生きた人々の生活の歴史」をテーマに、原始から近現代までを实物やジオラマなどで分かりやすく展示されていた。屋上にある連絡橋を渡ると大塚、歳勝土遺跡公園がある。ここは、竪穴住居など弥生時代の遺跡を中心として、江戸時代の旧家や広場などがあり、身近かに歴史が体験できるよう整備されていた。

時間が限られつぶさに見学できなかったのが残念であったが、担当県の皆さんに大変お世話をなったことを感謝するとともに、来年岐阜で開催される総会に期待しながら帰途についた。

## 新規加盟館の紹介

### 名古屋港水族館 (名古屋市港区港町1-3)

近代水族館の役割は生涯教育や健全なリクリエーション施設としての機能を果たすことの他に研究や自然保護活動等が大切であるといわれています。名古屋港水族館は「南極への旅」をテーマにさまざまな海に息づく生命を紹介しています。目の前でいきいきと生活する生き物たちを通して、生命の不思議を感じてください。



#### 営業案内

##### 〈開館時間〉

- 4月1日～7月20日・9月1日～11月30日  
午前9時30分～午後5時30分
- 7月21日～8月31日／午前9時30分～午後8時
- 12月1日～3月31日／午前9時30分～午後5時

##### 〈休館日〉

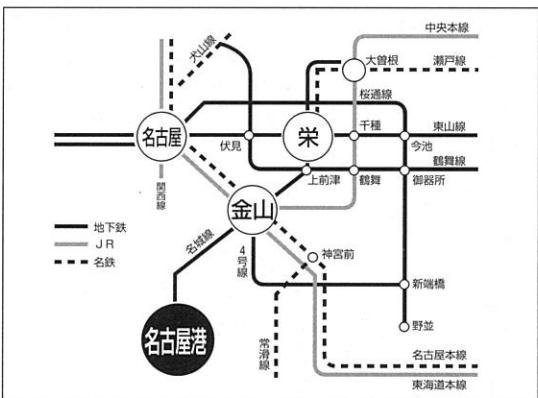
毎週月曜日(休日の場合は翌日)

及び12月29日～1月1日

##### 〈入館料〉

大人 1,500円 小中高生 700円  
(但し 20名以上は団体料金)

#### ■鉄道でのご案内

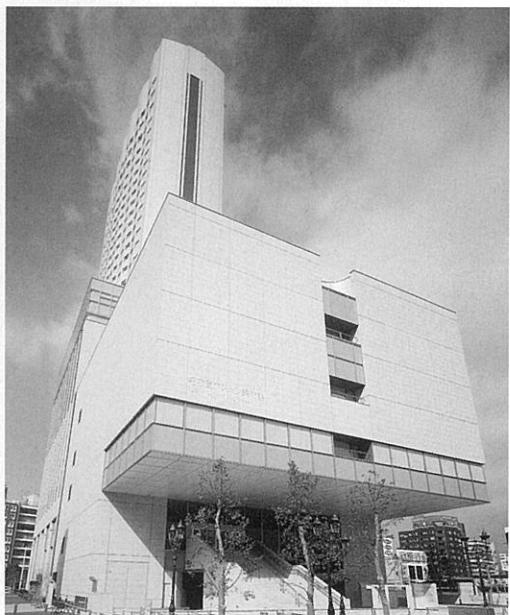


\*地下鉄名城線「名古屋港」駅下車(1番出口)徒歩7分



名古屋ボストン美術館  
NAGOYA/BOSTON MUSEUM OF FINE ARTS

(名古屋市中区金山町1-1-1)



名古屋ボストン美術館は、米国ボストン美術館の姉妹館として、世界屈指の美術コレクションの中から選ばれた作品の数々を、魅力的なテーマのもとに紹介していく、これまで日本には存在しなかった新しいスタイルの美術館です。

#### 営業案内

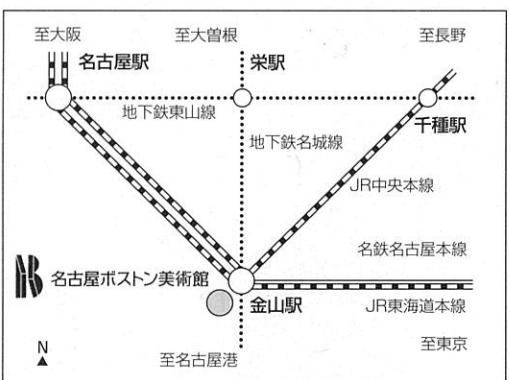
##### 〈開館時間〉

午前10時～午後5時 (金曜日は夜9時まで)

##### 〈休館日〉

月曜日(休日の場合は翌日) 年末年始

〈観覧料金〉	一般	高大生	小中生
企画展常設展	1,200円	900円	500円
常設展のみ	400円	300円	200円
(但し 20名以上は団体料金)			



# 美術の森

(知多郡美浜町布土半月85-1)

美術の森は感動と安らぎをテーマに平成10年3月に開館しました。

歴史に触れ興味を持って頂きたいと思い、自然の森に美術館を作りました。常設展示室の始皇館では中国秦始皇帝時代の兵馬俑と銅馬車を展示しています。企画展示室の陶磁館では東洋陶磁器を中心に展示し、野外広場では石の彫刻などもあり山上にあるギャラリー淵叢は、廃材を利用した建物で土壁、土間作りになっており、ここでは地元作家の作品を中心に展示替しています。また、鑑賞しながら開炉裏を囲み、お抹茶を楽しんで頂けます。

## 営業案内

### 〈開館時間〉

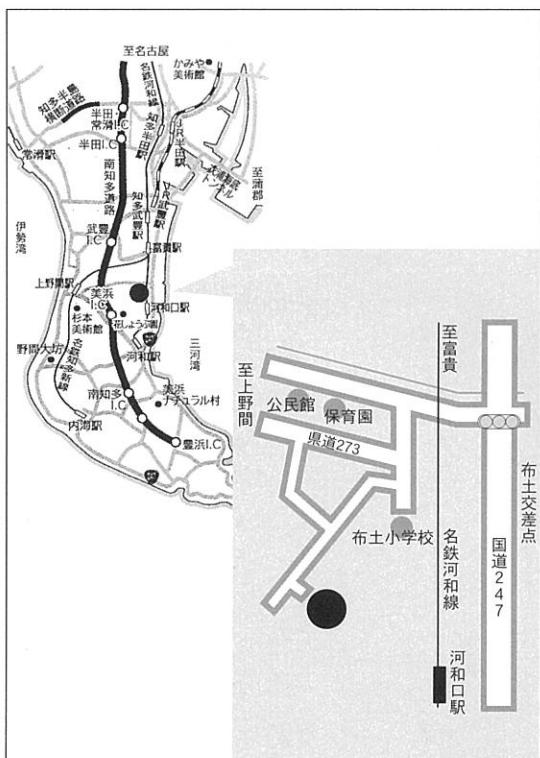
午前9時30分～午後5時

### 〈休館日〉

年中無休

### 〈入館料〉

大人1,200円 高校生800円 小中学生500円  
(但し 15名以上は団体料金)



# あいち子どもミュージアムキャラバン 参加者募集

「あいち子どもミュージアムキャラバン」は当協会子ども博物館研究会が、平成12年度「親しむ博物館づくり事業」の委嘱を受けて行っている「あいち子ども体験ミュージアム事業」のメインイベントです。すでに“どろんこやきもの体験隊”・“わたしのパリはコレ”・“漁師は海のおさかな博士”は終了、以下の企画参加者を募集しています。

## 参加者募集中のキャラバン

### “焼く・煮る・炊くは食の基本！”

会場 安城市歴史博物館

日程 11月11・12・25・26日

各日共に午前10時～午後4時

対象 小(高学年)中学生 20名

〆切 10月10日

お問い合わせは

安城市歴史博物館・岡安まで

☎ 0566・77・6655

### “編む・織る！縄文・弥生の布！”

会場 一宮市博物館

藤橋村歴史民俗資料館

日程 10月21日

午前8時30分～午後5時

1月27・28日

午前10時～午後4時

対象 小(高学年)中学生とその親15組

〆切 9月20日

お問い合わせは

一宮市博物館・久保まで

☎ 0586・46・3215

## 「愛知の博物館」No.72

発行日 平成12年8月31日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒467-0806

名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1

名古屋市博物館内

TEL <052>853-2655

FAX <052>853-3636